

3級損害保険登録鑑定人

建築

試験問題用紙

(2026年1月)

注意事項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容を記入・マークすると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。
6. 1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式または選択式の問題です。解答は解答用紙の該当するマークを塗りつぶしてください。

【問題 1】

次の 1～8 の記述は、建築法規について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築法規」（実教出版社）に準拠しています。

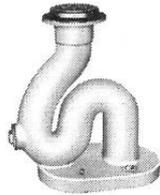
1. 基礎は、建築基準法上の「主要構造部」である。
2. 高さが 20m を超える建築物には、高さ 20m を超える部分を落雷から保護するように、原則として、経済産業大臣が定めた構造方法に従って避雷設備を設ける。
3. エキスパンションジョイントなどの相互に応力を伝えない構造方法のみで接続している建築物は、構造強度上はそれぞれ独立した別の建築物とみなす。
4. 建築面積は、原則として、建築物の外壁または柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積による。
5. 建築物の新築・増築・改築は建築基準法上の「建築」に含まれるが、移転は含まない。
6. 手術室などの温湿度調整を必要とする作業室は、採光のための開口部を設ける必要がない。
7. ふすま・障子など随時開放することができるもので仕切られた 2 室は、採光・換気とも 1 室とみなすことはできない。
8. 階数とは、建築物の階の数をいい、塔屋や機械室は、その水平投影面積の広さに関わらず、階数に算入しない。

【問題2】

次の1～5の記述は、給排水・衛生設備およびガス設備について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

なお、本問題は、「衛生・防災設備」（文部科学省）に準拠しています。

1. 排水器具のうち、下図に示すものはフランジという。



2. 給水方式の水道直結直圧方式は、停電による断水の心配がない。
3. 建物内の雨水排水は、雑排水と同じく汚染されているため、一般排水系統と同じ系統で排水する。
4. ループ通気管とは、2個以上の器具トラップを一括して通気する通気管をいい、最上流の器具排水管が排水横枝管に接続した点のすぐ下流から立ち上げて、通気立て管または伸頂通気管に接続する。
5. 液化石油ガスの充填容器は、常に40℃以下に保ち、かつ火気から2 m以上離れた場所に原則設置する。

【問題3】

次の1～6の記述は、防災・避難について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築法規」(実教出版社)、「衛生・防災設備」(文部科学省)に準拠しています。

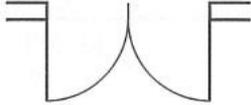
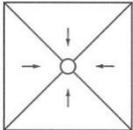
1. 屋内消火栓の2号消火栓は、1号消火栓が従来2人で操作する必要があったものを、1人で操作可能としたものである。
2. 移動式の粉末消火設備は、有効な開口部をもった駐車場などに設置される。
3. 防火戸は、「延焼のおそれのある部分」の開口部や、建物内の防火区画と階段室の出入口などに設置される。
4. スプリンクラー設備は、不特定多数が集まる大規模施設では必ず設置され、初期火災を越えたもの、あるいは中期以降の火災消火を目的としている。
5. 内装制限を受ける建築物の居室から地上に通ずる主たる廊下の仕上げは、難燃材料としなければならない。
6. 泡消火設備は、消火剤による汚損が少なく、復旧を早急にすることが必要な施設に設置される。

【問題4】

次の JIS A 0150 および JIS C 0303 によるア～ケの表示記号で、記号と表示事項の組合せが適切なものを下の選択肢から4つ選び、その記号を教えてください。

なお、尺度は 1：100 または 1：200 程度とします。

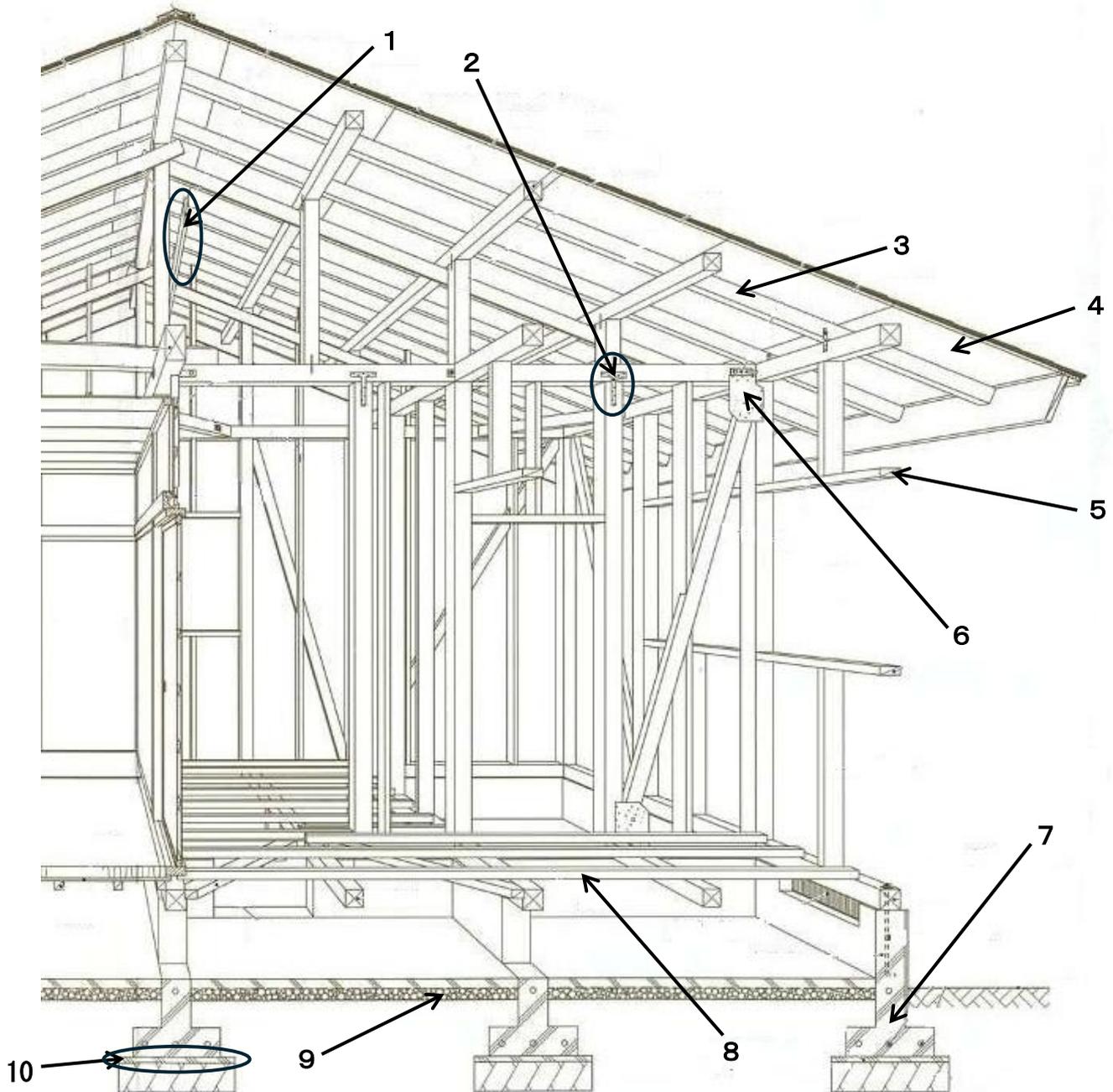
また、本問題は、「建築設計製図」（実教出版社）に準拠しています。

ア. 両開き窓	イ. 引違い戸	ウ. 網戸
		
エ. 木造真壁造	オ. 壁付きコンセント	カ. 蛍光灯
		
キ. 自由扉	ク. 畳	ケ. 傾斜床 ※中央に向かって流れる勾配
		

【問題5】

下図の木造平屋建住宅における1～10の部材等に該当する最も適切な名称を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。



《選択肢》

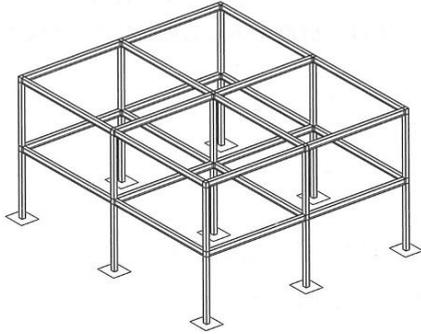
ア. 天井貫	イ. 筋かい	ウ. 桁行筋かい	エ. かど金物
オ. 束石	カ. べた基礎	キ. 野地板	ク. かすがい
ケ. 布基礎	コ. 窓まぐさ	サ. 窓台	シ. アンカーボルト
ス. 土台	セ. 捨コンクリート	ソ. 棟東	タ. 砂利
チ. 羽子板ボルト	ツ. 棟木	テ. 筋かいプレート	ト. 垂木
ナ. 小屋筋かい	ニ. 根太	ヌ. 土間コンクリート	

【問題6】

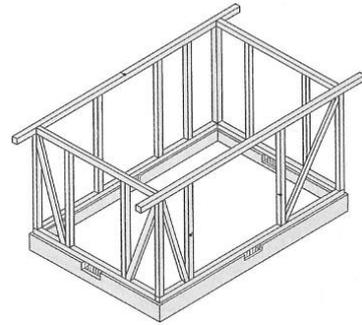
下図の1～3は、建築物の構造や構法を示しています。1～3に当てはまる最も適切な構造・構法をA群の選択肢から、また、それら構造・構法の説明として最も適切なものをB群の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。

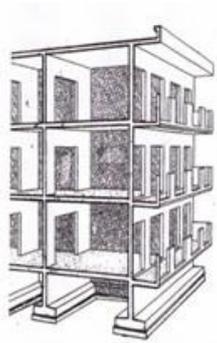
1



2



3



A群

《選択肢》

- | | |
|-----------------------|----------------|
| ア. 鉄筋コンクリート構造(ラーメン構造) | イ. 鋼構造(ラーメン構造) |
| ウ. 鋼構造(ブレース構造) | エ. 在来軸組構法 |
| オ. 壁式鉄筋コンクリート構造 | カ. 木造枠組壁構法 |

B群

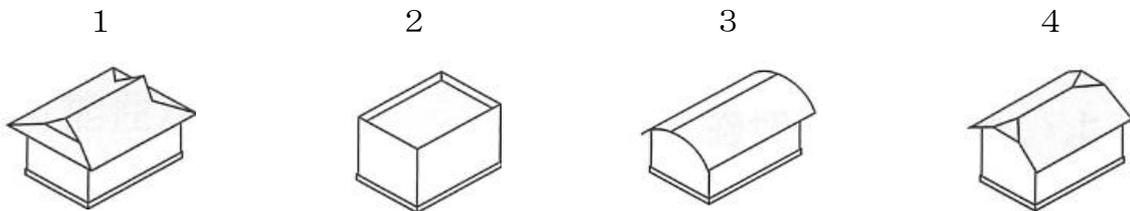
《選択肢》

- ア. 木材で土台・柱・桁・梁などの主要な部材を組み立ててつくる架構式の構造形式である。
- イ. 荷重・外力が作用したとき、一体化した柱と梁で変形を防ぐ。
- ウ. 柱に生じる力の関係で、柱の断面が上階より下階の方が大きい。
- エ. 用いる製材の寸法は11種類あり、耐震性・耐風性にすぐれ、気密性・断熱性・遮音性の高い建築物としやすい。
- オ. 工場やアリーナなどの柱のない大空間を必要とする建物では、軽量化を図るためにトラス梁を用いることがある。
- カ. 建築物の高さは、地上階数は5階以下とし、軒高は20m以下、各階の階高は3.5m以下などの規定がある。

【問題7】

次の1～4の図は、屋根の形状を示しています。これらに該当する最も適切な名称を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。



《選択肢》

- | | | |
|----------|----------|------------|
| ア. 片流れ屋根 | イ. 切妻屋根 | ウ. 寄棟屋根 |
| エ. 入母屋屋根 | オ. 方形屋根 | カ. マンサード屋根 |
| キ. 腰折れ屋根 | ク. 陸屋根 | ケ. 反り屋根 |
| コ. むくり屋根 | サ. 差掛け屋根 | シ. 半切妻屋根 |

【問題 8】

次の1～8の記述は、建築材料について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. 広葉樹は、一般にまっすぐで長大材が得やすいため、柱・土台・梁などの構造材だけでなく、床・壁・天井などの仕上材や建具材などにも広く用いられる。
2. 木材は、周囲に炎がない場合でも、約 450℃に達すると自然に発火する。
3. 均質な大きな板材が得られ、釘打ちしやすく、加工性に富んでいる繊維板は、密度によってハードファイバーボードなど複数種類に分類される。
4. 異形鉄筋を用いた鉄筋格子は、D 4 から D 5 1 までの呼び名で示される。
5. 鉄筋コンクリート構造で一般に使用される混合セメントは、クリンカーとせっこうからつくられる。
6. コンクリートの練混ぜ水の量は、ワーカビリティ、硬化したコンクリートの強度や耐久性に影響するため、使用する骨材の含水状態を確認してコンクリートの調合を行う。
7. 鋼構造の骨組となる鋼材は、一般に炭素量の多い硬鋼が用いられる。
8. 鋼を製造するときに表面に生じる黒い酸化物は、黒皮（ミルスケール）ともよばれ、皮膜をつくり、空気を遮断するので、防食効果がある。

【問題9】

次の1～4の記述は、木構造について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

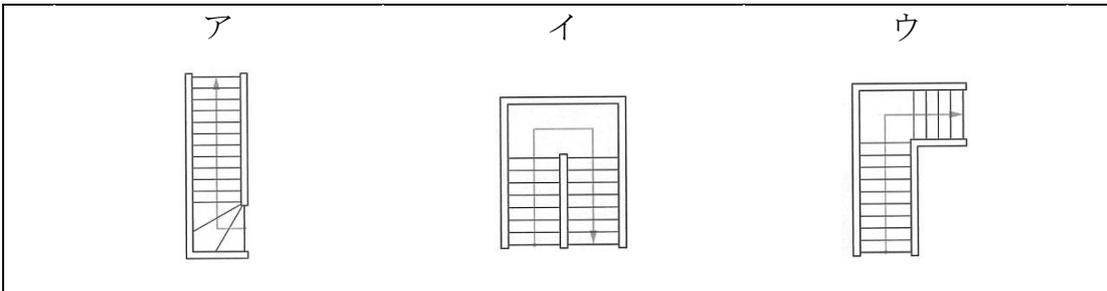
1. 2階建以上の軸組で2階床位置の外周部に用いる □ 1 □ には、ふつう、ベイマツやマツなどが用いられる。

《選択肢》

ア. 頭つなぎ イ. 胴差 ウ. くつずり

2. 下図の階段の種類において、「曲り階段」は □ 2 □ である。

《選択肢》



3. 外壁の板壁のうち、板を縦に張るものを □ 3 □ 張りという。

《選択肢》

ア. 下見板 イ. 箱目地下見板 ウ. 羽目板

4. 木造枠組壁構法の小屋組のうち、□ 4 □ 方式は、大スパンの小屋組に向いている。

《選択肢》

ア. トラス イ. 垂木 ウ. 束立て

【問題 10】

次の1～8の記述は、鉄筋コンクリート構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ教えてください。

なお、本問題は、「建築構造」(実教出版社)に準拠しています。

1. 鉄筋とコンクリートの付着力は、コンクリートの圧縮強度が高いほど、鉄筋の表面積が大きいほど増加する。
2. 内壁の張仕上げにおいて、合板・せっこうボード・繊維板などは躯体に胴縁などを取り付け、釘止めとし、接着剤を用いて直接張り付けてはならない。
3. 側桁式(4辺支持)の階段は、階段の幅およびスパンの大きい場合に最も多く用いられる。
4. 床スラブは、主にせん断力に抵抗するように配筋する。
5. コンクリートは、木材に比較して熱伝導率が低く、熱が移動しにくいですが、熱容量が小さいので熱しやすく、冷めやすいことから、断熱をほどこす部分は外壁、屋根スラブ、最下階の床スラブと基礎である。
6. 壁式鉄筋コンクリート構造で使用するコンクリートに用いる粗骨材の最大寸法は、20mm以下である。
7. 周辺を固定した床スラブの厚さは、一般に15 cm程度とすることが多い。
8. 補強コンクリートブロック構造で使用されるブロックは、圧縮強さによりⅠ類、Ⅱ類、Ⅲ類の3種類がある。

【問題 11】

次の1～7の記述は、鋼構造および合成構造について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

なお、本問題は、「建築構造」（実教出版社）に準拠しています。

1. ボルト接合は、大規模な建築物の構造耐力上主要な部分や振動・衝撃・繰返し荷重を受ける部分に使用する。
2. 完全溶込溶接では、接合部の全幅を完全に溶接するため、溶接の始端と終端には欠陥が生じやすいことから、グループを用いて始端・終端を接合に必要な範囲外に出す。
3. 単一柱は、大きさに限度があるため、大きな力が作用する場合、組立柱を用いる。
4. 耐火被覆の方法として、ALCパネル等の耐火性能の高い材を壁や床に用いたときは、室内側で鋼材が露出した部分のみ耐火被覆を施す合成構法のほか、鋼材としてFR鋼を使用して耐火被覆を削減または省略する方法もある。
5. 勾配のついた屋根では、金属板・波形スレート・屋根用折板などが用いられ、曲面にするときには金属板、陸屋根ではALCパネルや鉄筋コンクリートの屋根スラブに防水を施す。
6. 鉄骨鉄筋コンクリート構造の構造用材料には、構造用鋼材や軽量形鋼が用いられる。
7. 鋼製の梁と鉄筋コンクリートのスラブを頭付きスタッドで一体化させ、曲げへの抵抗力を高める合成梁は、比較的、小断面で大スパンを支持できる。

【問題 12】

次の1～5の記述は、建築施工について述べたものです。□に当てはまる最も適切なものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えてください。

なお、本問題は、「建築施工」（実教出版社）に準拠しています。

1. 工事測量において、建築物の水平の基準や柱・壁などの中心線を明示する仮設物を□**1**といい、木構造などの小規模な建築物を施工するときには多く用いられている。

《選択肢》

ア. 遣方

イ. 割付け

ウ. 縄張り

2. 木工事に用いるべた基礎の配筋工事では、根切り底に割石などを敷き詰めて転圧し、捨コンクリートを打った地業の上に設計図書に従い配筋を行うが、このとき割石の上に□**2**を敷き詰めることが多い。

《選択肢》

ア. ブラスター

イ. 鋼製ラス下地

ウ. 防湿材（ポリエチレンフィルム）

3. 鉄筋コンクリート構造の外部開口部のシーリング工事において、ムーブメントの大きい目地には、目地深さを一定に保ち、目地底に充填材が付着しないよう□**3**などを挿入し、両側面のみの2面接着とする。

《選択肢》

ア. 内法材

イ. バックアップ材

ウ. ばた材

4. 鋼構造において、箱形断面の柱では、□**4**に添板を当て、高力ボルトで締付ける。

《選択肢》

ア. エレクションピース

イ. エフロレセンス

ウ. タイトフレーム

5. 木材の数量積算において、一般的な積算手法としては、3 mと4 m（3.65mのものもある）を基準として、□**5**で行う。

《選択肢》

ア. 公入札

イ. 設計寸法

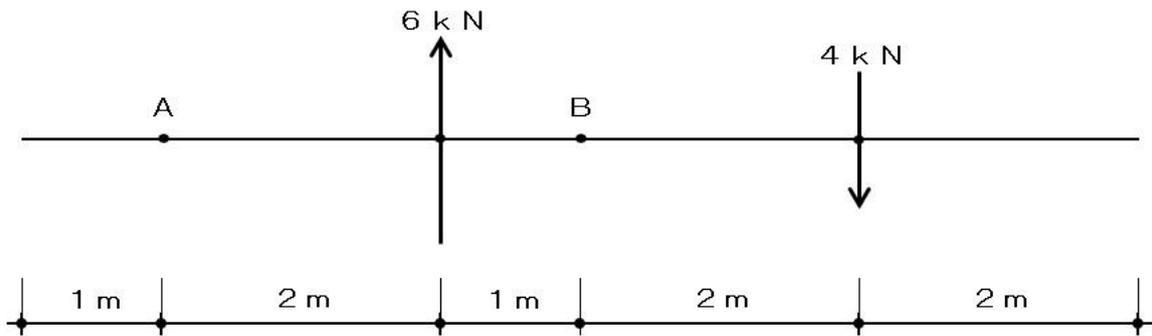
ウ. 定尺物

【問題 13】

下図に示すA点およびB点に対する力のモーメントの合計で最も適切な数値を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

ただし、モーメントの回転方向と符号は時計回りを正（+）として省略し、反時計回りは負（-）とします。

なお、本問題は、「建築構造設計」（実教出版社）に準拠しています。



1. A点の力のモーメントの大きさ

《選択肢》

ア. $-2 \text{ kN}\cdot\text{m}$

イ. $-6 \text{ kN}\cdot\text{m}$

ウ. $8 \text{ kN}\cdot\text{m}$

2. B点の力のモーメントの大きさ

《選択肢》

ア. $4 \text{ kN}\cdot\text{m}$

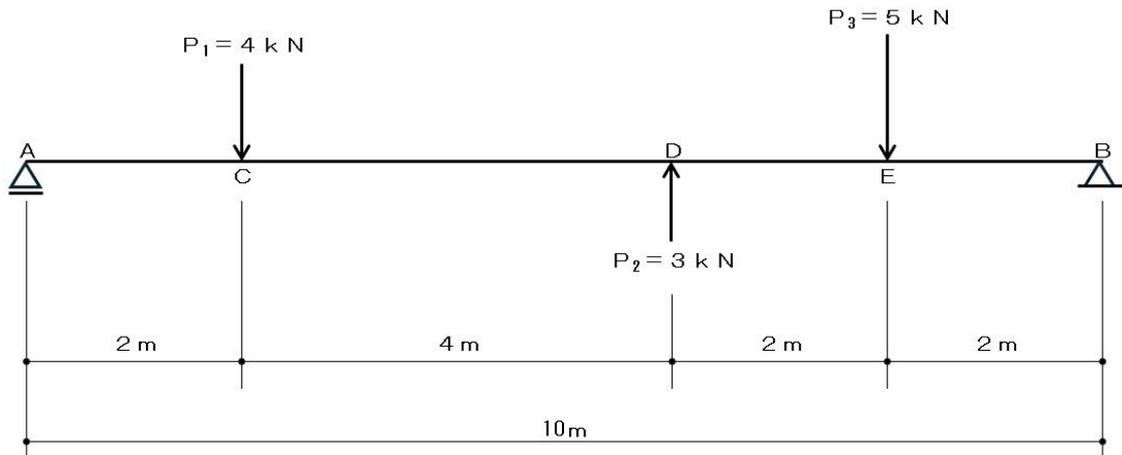
イ. $6 \text{ kN}\cdot\text{m}$

ウ. $14 \text{ kN}\cdot\text{m}$

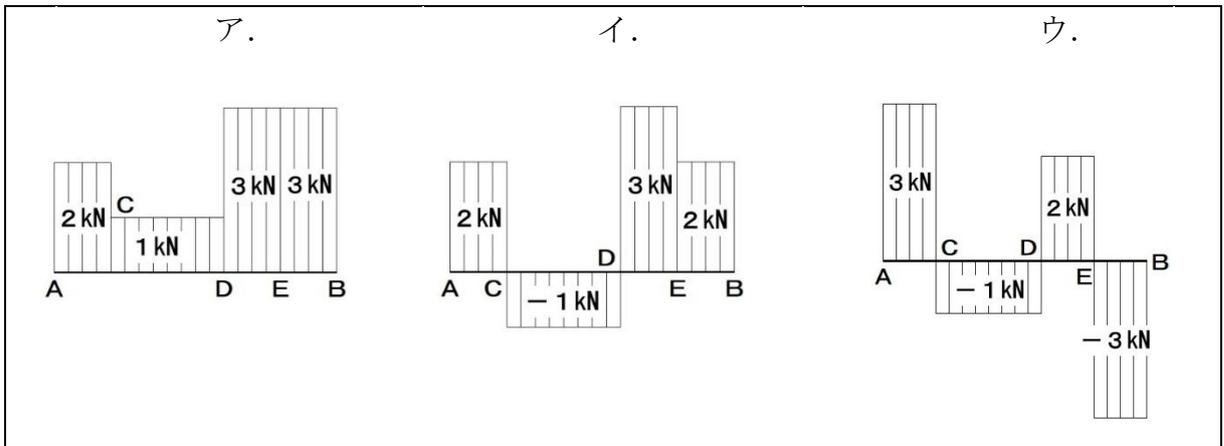
【問題 14】

下図のような集中荷重を受ける静定構造物の最も適切なせん断力図および曲げモーメント図を下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その記号を教えてください。

なお、せん断力、曲げモーメントの「+」「-」も含め、本問題は「建築構造設計」(実教出版社)に準拠しています。



1. せん断力図



2. 曲げモーメント図

